

☆学校の看護師300人増＝医療的ケア児支援で要求－文科省

時事ドットコム 2018/08/24

<https://www.jiji.com/jc/article?k=2018082400792&g=soc>

> 文部科学省は24日、日常生活で人工呼吸器やたんの吸引などが必要な医療的ケア児への支援を手厚くするため、2019年度に公立の特別支援学校、小中学校に都道府県や市区町村などが配置する看護師を前年度より300人多い1800人に増やす方針を固めた。人件費の3分の1を国が補助する。

文科省によると、公立特別支援学校での医療的ケア児の在籍数は06年度は5901人だったが、17年度は8218人に増加した。

校内で医療的支援が必要な子どものため、都道府県などは学校に看護師を配置し、対応している。看護師は配置先の学校で活動するだけでなく、近隣の小中学校などを巡回することもある。

…などと伝えています。

*医療的ケア児支援で看護師増 文科省、1800人要求

日本経済新聞 2018/8/24 10:21 [共同]

<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO34541020U8A820C1CR0000/>

> 文部科学省は24日、学校に通う重い障害のある子どもの増加を踏まえ、学校生活に必要な医療的ケアを担う看護師を300人増やして1800人配置することを決めた。他の特別支援教育の関連政策とも合わせ、2019年度予算の概算要求に28億円を盛り込む。

文科省によると、公立の特別支援学校に在籍する医療的ケアが必要な子どもは06年度に5901人だったが、17年度は約1.4倍に増加した。同省は専門職である看護師の配置を充実させることで、付き添い保護者の介助負担の軽減にもつなげたい考えだ。

具体的には、自治体や学校法人が看護師を学校に配置する際、費用の3分の1を補助。看護師が配置先から幼稚園や高校などを巡回することも認める。

…などと伝えています。

☆保育園が見つからない 医療的ケア児

長崎新聞 2018/8/27

<https://this.kiji.is/406467100246066273?c=174761113988793844>

> 出生して医療機関を退院後も、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な子ども「医療的ケア児」が、年々増加している。しかし、保育施設の受け入れは進まず、県内でも同施設に通っているケア児はごくわずかとみられる。あずけるところがなくつきっきりでケアをする保護者の負担は重く、国や自治体による体制整備が急務だ。

長崎市内に住む女性（34）は育休を取り、昨年8月に生まれた長男（1）の面倒を見ている。長男は気管を切開し、そこに管を差し込んでいる。女性は管に、吸引器とつないだカテーテルを挿入し、たんを吸い取る。カテーテルを交換すると、口と鼻から唾液や鼻水を吸引。長男が起きている間は頻りにケアをする必要があるため女性はこれらの機器や手動式の人工呼吸器などをバッグに入れて持ち歩いている。長男は予定日より2カ月早く生まれた。胎児に酸素や栄養を送る胎盤が急

に剥がれたためだ。原因は不明。長男は救急搬送先の病院から、新生児集中治療室（NICU）がある長崎医療センター（大村市）にドクターヘリで運ばれ入院。一命は取り留めたが、脳性まひで人工呼吸器を付けざるを得なかった。

女性はいくつもの管につながれた長男と対面し「早く生んでしまっでごめんね」と涙が止まらなかった。長男は気管切開の手術をして次第に人工呼吸器が外れるようになり、今年4月、自宅に戻った。

育休期間がいったん8月に切れるため、長男を受け入れられる保育園を市役所に問い合わせた。看護師がいる園を紹介され、自宅周辺の10カ所ほどに電話をすると、障害を理由にほとんど断られた。「見学に来てください」と勧めてくれた園が1カ所だけあり、時々、園開放日に親子で訪れている。

育休は半年延長した。最長で来年夏まで取得できるが、自分の業務も担っている職場の同僚に対し申し訳ない気持ちになる。長男にとってもほかの子どもと一緒に過ごす方が発達の刺激になっていいと思う。だが保育園が見つかるめどはいまだ立たない。

◎県外の先進地 参考に

厚生労働省によると、2017年3月末現在、全国の保育所や認定こども園計292カ所が医療的ケア児計323人を受け入れ、県内は3カ所計3人にすぎなかった。

約15年にわたりケア児をみてきた長崎市の訪問看護ステーション鳴見の代表看護師、松島由美さんは「子どもの世話があるため働きたくても働けない母親が多い。仕事を辞めざるを得ず、家計が苦しくなった人もいる」と話す。

県南部に本年度、ケア児を初めて受け入れた保育園がある。ただ保護者や主治医らと事前に何を確認すべきか県内では分からなかったため、厚労省が17年度に始めた保育支援モデル事業に応募している京都市など県外の先進地を参考に、園の看護師が急きょ必要書類を作成。主治医の意見書やケアの実施計画書など11種類に及んだ。

園長は「多くの園が受け入れてあげたいと思っているが、現状ではどこまでケアをすべきなのか、万が一事故が起きたときの責任はどうなるのかなどが明確でなく、二の足を踏んでいるのではないかと指摘する。

京都市は今年3月、ケア児が保育所などを利用する際の要綱を施行した。幼保総合支援室によると、保護者から申し込みがあった場合、医師、看護師、関係部署の職員で「検討会議」を開催。提出された書類や事前の面談などを基に協議し、その結果を踏まえ市長がケアが実施可能かどうか決定する。認められれば、保育所は主治医の指示書などを基にケアの実施計画書などを作成し、保護者は承諾書を保育所と市に提出する。

要綱は、ケアは看護師らが実施すると規定しているが、保育所への看護師配置は法令で義務付けられていない。今年6月現在、京都市内で保育時間にケアを受けている子どもは11人いるが、幼保総合支援室は「医療的ケア児による利用が毎年あるかどうか分からず、保育所は看護師を確保すべきかどうか判断が難しい。3人を受け入れている保育所もあるが、病院経営の法人が運営している」と説明する。

厚労省は今後、各自治体のモデル事業の結果公表を検討。さらに18年度の調査研究事業で有識者らの検討会を設け、受け入れ体制のガイドラインを取りまとめるという。

訪問看護ステーション鳴見の松島さんは「子どもの障害を自分の責任と思う母親も少なくない。その上ずっと子どもの面倒を見ているため、心身のストレスが非常に大きい。ほっとひと息つけよう、あずけられる場所が必要」と話した。
…などと伝えています。

☆あなたは医療的ケア児の家族が置かれている状況を知っていますか？

本郷朋博・ウイングス代表 SYNODOS・シノドス 2018.08.22

<https://synodos.jp/welfare/21871>

>はじめに

医療的ケア児とはどのような子どもか

医療的ケア児の家族はどのようなことに困っているのか

- 1) 相談する相手がない
- 2) 公的な支援制度が整っていない
- 3) 保護者（とくに母親）が仕事を辞めざる得ない
- 4) 子どもに十分な発達・発育の環境が与えられていない

課題の解決に向けた活動

- 1) 気軽に相談できる場所を作る
- 2) 全国の当事者・家族会の所在を可視化する

提言

- 1) 医療的ケア児を地域で受け入れよう
- 2) 医療的ケア児の家族のサービスを提供する施設や団体を支援しよう
- 3) 公平性と合理性を欠く制度の見直しを訴えよう

さいごに

…などと伝えています。

* ウイングス公式サイト 医療的ケア児などががんばる子どもと家族を支える会

<https://wings-japan.jimdo.com/>

☆特別なニーズのある子の家族支援サイト Familias de Angelitos

【東京福祉大学短期大学部小林研究室】 » 医療的ケアってなあに？

<http://kazokushien.jp/leaflet/>

・医療的ケアリーフレット

<http://kazokushien.jp/wp-content/uploads/2018/08/pdf2018082101.pdf>

☆YeLL[いえる] | 北海道小児等在宅医療連携拠点事業

<http://yell-hokkaido.net/>

> 『みらいつくり大学』

重度の肢体不自由を有する、特に日常的に人工呼吸器等の高度な医療的ケア等の支援を必要とする方々は、その障害の重さ故に大学進学等をあきらめざるを得ない状況におかれています。

医療法人稲生会では、そのような方の卒後の選択肢として大学相当の学習機会をつくりたいとの思いから、文科省の実践研究事業に取り組み始めました。

「みらいつくり大学」と名づけたこの取り組みでは本年度、地域共生社会の実現に向けて障害当事者の自立をテーマに、様々な講師陣から全 15 回に渡って学んでいきます。

Web からの受講など多様な参加方法に挑戦しつつ、講義やディスカッションを通じて“ともに学ぶ”ことの楽しさを体験してほしいと願っています。

https://www.youtube.com/watch?v=DmGJWb6Z_O0&feature=youtu.be

…などと

F B ページ北海道 小児等在宅医療連携拠点事業 YeLL・ホーム で

<https://www.facebook.com/yell.hokkaido/>

…などと伝えておられます。

△平成 30 年度「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」について

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課障害者学習支援推進室 平成 30 年 08 月 08 日

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/1407845.htm

> ・「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」の概要

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/_icsFiles/afieldfile/2018/08/08/1407845_1.pdf

・採択団体研究概要一覧

http://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/_icsFiles/afieldfile/2018/08/08/1407845_4.pdf

医療法人稲生会

重度肢体不自由や医療的ケア等が必要な重度障害者を対象にした高等教育相当のプログラム提供に向けた体制やカリキュラムの開発・検証を実施。卒後の選択肢とし、どのような支援体制を必要とするかを実践に基づき検証する。障害者が今後の地域共生社会の実現に資する人材として研究成果の発表等といった活躍の場を広げることのできる環境整備を目指す。これらの取組について、道教委、当事者団体、特別支援学校のほか、大学の生涯学習や特別支援教育の研究者等と連携して取り組む。

…などが掲載されています。

☆湖水浴ふかふか楽しいね 高島で重い障害ある子どもと家族ら

中日新聞 滋賀 2018年8月27日

<http://www.chunichi.co.jp/article/shiga/20180827/CK2018082702000010.html>

＞ 心身に重い障害のある県内外の子どもたちと家族が二十五、二十六日、高島市安曇川町の旅館に宿泊し、バーベキューや湖水浴を満喫した。

企画したのは、自宅で暮らし、医療的ケアが必要な子どもと家族を支援するNPO法人「びわこファミリーレスパイト」（守山市）。昨年六月には、重い心臓病などを伴う染色体異常「18トリソミー」の子どもと家族を対象に沖縄旅行を実施。その時の海水浴の経験も踏まえ、初めて企画した。

参加したのは、七家族二十二人と、医師や看護師らスタッフ十八人。初日の二十五日は、旅館「白浜荘」に宿泊し、バーベキューや花火を通じて交流を深めた。二十六日は、午前九時すぎから、旅館前の水泳場で、スタッフが付き添う中、気管切開した子らが浮輪や浮具を使って湖水浴を体験。降り注ぐ日差しに目を細めながら、時折押し寄せる波に気持ちよさそうに揺られていた。

守山市金森町の主婦上田圭さん（31）は、先天性の難病「CFC症候群」を患う長男将義ちゃん（2つ）と、夫で公務員の浩之さん（35）と参加。初めて体験した湖水浴について「（将義ちゃんは）最初はすごく怖がっていたけど、体がふかふかするからか、楽しそうだった」と話した。

愛知県幸田町の看護師夏目昌彦さん（36）は、18トリソミーの長女美祈（みのり）ちゃん（3つ）、妻で看護師の由子さん（40）と訪れ、「障害があると人目も気になるが、大自然の中で普通に泳ぐことができると楽しい。何かあっても、医師や看護師がいて緊急処置もやってもらえるので、安心感もある」と笑顔を見せた。

同NPO法人の熊田知浩理事長（45）は「楽しんでもらえていたので良かった。来年以降も継続したい」と話した。十月には、守山市内で医療的ケア児や家族が楽しめるイベントを予定している。詳細は後日、ホームページに掲載する。

…などと伝えています。

△びわこファミリーレスパイト

<http://biwakofr.org/>

▽人工呼吸器の子、軽井沢で空の旅 母感動「娘と気球に乗れるなんて」

（福井新聞ONLINE） - Yahoo!ニュース 8/14

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180814-00010001-fukui-l18>

▽水上車いすで海水浴満喫

医療・福祉関係者ら、重度障害者をサポート 石巻・白浜

（石巻かほく メディア猫の目） - Yahoo!ニュース 8/17

<https://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20180817-00010000-nekonome-l04>

☆渡辺一史原作 『こんな夜更けにバナナかよ』

<http://www.edia.jp/watanabe/watanabe/Banana.html>

- ・文春文庫 『こんな夜更けにバナナかよ 筋ジス・鹿野靖明とボランティアたち』

渡辺一史 文庫・文藝春秋 BOOKS

定価：本体 880 円＋税 発売日：2013 年 07 月 10 日

<https://books.bunshun.jp/ud/book/num/9784167838706>

- *実写映画化 ←2018年12月28日松竹系公開

映画『こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話』公式サイト

<http://bananakayo.jp/>

- *大泉洋のワガママに高畑充希ブチギレ!「こんな夜更けにバナナかよ」特報完成

映画.com 8/24

<https://eiga.com/news/20180824/11/>

> 大泉洋主演で渡辺一史氏の書籍を映画化する「こんな夜更けにバナナかよ愛しき実話」の公開日が、12月28日に決定。あわせて、大泉のほか、共演の高畑充希と三浦春馬の姿もとらえたティザービジュアルと特報映像が完成した。

…などと伝えています。

- ・【動画】「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」特報 予告編・動画

<https://eiga.com/movie/89090/video/>